

競 技 注 意 事 項

- 2014年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会の申し合わせ事項によって競技を行う。
スタートはイングリッシュコマンド、不正スタート1回失格をとする。
- 本大会は県大会出場選手の選考競技会である。
男子7名、女子6名が県大会へ出場できる。競歩競技、混成競技は男女と2名が県大会に出場できる。
男子棒高跳3m00、男子ハンマー投は40m00の標準記録を突破したもの。
種目の一次予選通過者は必ず二次へ出場すること。県大会出場者は二次予選の結果により選考する。
なお、1次予選のみの種目は1次予選の結果により選考する。
跳・投種目(走高跳、棒高跳は除く)の決勝は3回の試技後、上位8名を選出し、あと3回の試技を行う。
男子走幅跳の予選通過標準記録は6m20とする。

- 招集は雨天練習場で行う。

招集開始および完了時刻は競技日程に記載してある。

招集開始時刻に招集場で競技者係の点呼を受け、その際ナンバーカード・スパイクの点検を受ける。

※ 混成競技については各競技日の第1種目、及び1500m、800mについては競技者係で点呼をうける。

他の種目については競技開始20分前に現地に集合し点呼を受けること。途中で棄権する場合は競技者係に申し出ること。

(注) 2種目に引き続いて出場する場合などで、次の種目の招集点呼を受けられない場合はあらかじめ競技者係に他種目同時出場届を提出して確認してもらい、指示を受けること。

点呼を受けないものは棄権するものとみなし出場を認めない。

・リレーオーダー用紙の提出については、次の通りとする。

提出先	本 部 番 組 編 成 員
提出時間	各種目第1組の招集完了時刻の2時間30分～1時間30分の間に提出のこと。 リレーのオーダー用紙はプログラム最終ページのものを使用する。

- プログラム記載のナンバーや氏名に誤りがあれば、大会総務に申し出て訂正してもらうこと。
- ナンバーカードは胸部・背部ともにしっかりと付けること。(ナンバーカードは大きさを変えない)
ただし、跳躍競技に参加する競技者は胸部・背部のいずれか一方でもよい。
以上については招集時に点検する。短距離、ハードル、800mにおいては腰ナンバーを各校で用意すること。1500m、3000mSCの出場者については腰ナンバーを、3000m、5000m、競歩の出場者には別ナンバーおよび腰ナンバーを渡す。ゴール後はすぐにはずして係に返却すること。
- 腰ナンバーは定められたレーンのナンバーカードを右腰やや後部に付けること。
- スターティングブロックは競技場備え付けのものを使用すること。
やはり各自持参のものを検査をうけて使用してもよい。検査は第1コーナーの用器具庫で行う。
検査時間：男女やり投 招集開始前から約20分間 男子12:30～12:50 女子8:30～8:50
混成やり投 競技開始の40分前から約10分間 男子10:50～11:00 女子11:50～12:00
- 走高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。(天候その他、審判員の判断で変更することがある。)

	練習	1	2	3	4	5	6	
男走高跳	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1m80以降3cmきざみ
女走高跳	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1m50以降3cmきざみ
棒高跳	2.20	2.40	2.60	2.80	3.00	3.10	3.20	3m00以降10cmきざみ
八種走高跳	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1m60以降3cmきざみ
七種走高跳	1.10	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1m40以降3cmきざみ

順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳では2cmとする。

- 5000m、3000m、3000mSC、5000mWでは、著しく遅れた場合は、レースを中止してもらうことがある。
指示があれば速やかに競技を中止すること。
- ウォーミングアップについては、サブトラックを使用すること。但し投てきの練習は禁止する。
- 各自の荷物は、各自でよく管理すること。更衣室等に監視なしで放置すると、盗難の恐れがある。
忘れ物、落とし物のないようよく注意すること。
- 補助員は各校2～4名出すこと。指示を受けてから配置につくこと。
- 競技場は、全天候性であるから9mm以下の全天候用のスパイクピンを使用すること。
ただし、走高跳、やり投は12mm以下とする。
- 2日目の競技終了後、県大会出場者の確認、並びに、+アルファ順位決定の会議を行う。県大会に出場する学校は必ず出席すること。 場 所・・・エバー記念競技場B会議室 時 間・・・16:30～17:30の予定